

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公表番号】特表2008-528608(P2008-528608A)

【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-030

【出願番号】特願2007-553225(P2007-553225)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/36

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月26日(2009.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

NKT細胞を活性化するための医薬組成物であって、CD1d分子と複合化し得る細菌糖脂質を含み、前記細菌糖脂質が、リケッチア目由来である医薬組成物。

【請求項 2】

前記リケッチア目のメンバーが、エールリキア科のメンバーである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記エールリキア科のメンバーが、エールリキア属のメンバーである、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記エールリキア属のメンバーが、エールリキア・ムリスである、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記CD1d分子が、細胞によって発現される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記細胞が、抗原提示細胞である、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記抗原提示細胞が、樹状突起細胞である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記CD1d分子が、テトラマーを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 9】

対象者における免疫応答を刺激する医薬組成物であって、

- a) リケッチア目由来の細菌糖脂質、
- b) CD1d分子と複合化したリケッチア目由来の細菌糖脂質、
- c) リケッチア目由来の細菌糖脂質と接触させたCD1d+ 抗原提示細胞、又は
- d) 前記の組み合わせ、

を有することを特徴とする医薬組成物。

【請求項 10】

前記免疫応答が、抗過剰増殖応答である、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記免疫応答が、腫瘍の退縮を促進する、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記免疫応答が、自己免疫を調節する、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記免疫応答が、アレルゲン誘発過敏症である、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記免疫応答が、抗微生物免疫応答である、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記抗微生物免疫応答が、微生物の増殖阻害に有効である、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記微生物が、ウイルス、細菌及び寄生虫から成る群から選択される、請求項 15 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

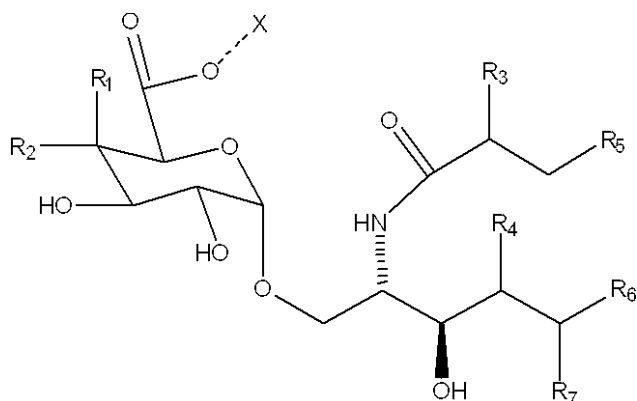
ワクチンの有効性を改善する医薬組合せであって、

ワクチン及びアジュバントを有し、

前記アジュバントが、リケッチア目由来の細菌糖脂質、リケッチア目由来の細菌糖脂質で活性化したNKT細胞又はその組合せ、を含むことを特徴とする医薬組合せ。

【請求項 18】

NKT細胞を活性化する医薬組成物であって、次式で示される化合物を含有することを特徴とする医薬組成物。



式中、

----は、Xが水素若しくは低級アルキルである場合には、一重結合を、又はXが対イオン

である場合には、イオン結合のどちらかを示し、

$R_1$  は、-H、単糖類及びオリゴ糖類から成る群から選択され、

$R_2$  は、-H、-OH、単糖類及びオリゴ糖類から成る群から選択され、

$R_3$  は、-OHであり、

$R_4$  は、-H又は-OHであるか、又は $R_7$ と一緒に二重結合を形成し、

$R_5$  及び $R_6$  は、それぞれ別個にC1 - C30アルキルであり、ここでC1 - C30アルキルは飽和若しくは不飽和であるか、又は1つ以上のシクロプロピル基を含み、そして

$R_7$  は、-Hであるか、又は $R_4$ と一緒に二重結合を形成する。

【請求項 19】

式中、Xが、メチルであり、 $R_1$  が、-Hであり、 $R_2$  が、-OHであり、 $R_3$  が、-OHであり、 $R_4$  が、-Hであり、 $R_5$  が、C11アルキルであり、 $R_6$  が、C13アルキルであり、 $R_7$  が、-Hである、請求項 18 に記載の医薬組成物。